

経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市産業振興財団	所管課	経済労働局産業振興部企画課
----------	------------------	-----	---------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1)法人の事業概要

川崎市産業振興会館、かわさき新産業創造センター及びナノ医療イノベーションセンターを拠点に、市内産業の高度化と地域産業、科学技術振興のための事業を実施。

(2)法人の設立目的

高度情報化に対応するとともに、企業間の情報交流の促進、技術開発及び産業経済に関する調査研究、人材育成等を行うことにより、川崎市及び周辺地域における産業の高度化と、地域産業の振興を図り、もって地域の産業経済の発展に寄与すること及び、先端的な医療分野、薬学分野等における研究開発の推進、技術移転、人材の育成等を産学公のもとに行うことにより、医療、福祉の向上及び産業経済の発展、さらに学術の進歩に寄与することを目的とします。

(3)法人のミッション

①起業支援、中小企業のイノベーションの促進②中小企業サポートセンター業務の効果的な実施③戦略的情報発信の実施④指定管理者としての効果的・効率的な川崎市産業振興会館及び新産業創造センターの運営⑤事業の適切な執行と効率的・効果的な執行体制の整備⑥先端的な医療分野、薬学分野等における研究開発の推進、技術移転、人材の育成等を産学公のもとに実施することなどを目指します。

本市施策における法人の役割

- 1 当該財団は、本市をはじめ関係機関との緊密な連携を保持しながら、これまでに企業訪問等を通じて構築したネットワークや経験・情報を活用し、中小企業の競争力強化等に向けて、ネットワークの核となる中間支援組織としての役割、中小企業へのコーディネートマッチング支援、起業及び新事業の創出を支援する役割や市内中小企業事業者支援のワンストップサービス窓口としての役割を担っています。
- 2 川崎市産業振興会館の指定管理者として会館の適正かつ効率的な運用や新産業創造センターの指定管理者として創業・成長支援や新分野進出支援等に努めています。
- 3 本市が推進するライフイノベーションなど新しい分野の産業振興にも積極的に参画し、ナノ医療イノベーションセンターを拠点として、先端的な医療分野、薬学分野等における研究開発の推進、技術移転、人材の育成に取り組むことで、医療技術や福祉の向上、産業経済の発展、学術の進歩に貢献していくとともに、市内中小企業と同センターの研究開発機能とのコーディネートを図ることにより、市内中小企業を含む市内産業のさらなる高度化を支援する役割を担っています。

	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
法人の取組と関連する計画		活力と魅力あふれる力強い都市づくり	中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成
	分野別計画	かわさき産業振興プラン	

現状と課題

【現状】

- 1 当該財団では、窓口相談のほか登録専門家を派遣し、市内中小企業の経営改善、経営支援を行っているほか、「創業フォーラム」、「起業家オーディション」等を通じて起業家の育成や市内中小企業の新分野進出の支援を行っております。
- 2 コーディネート支援活動として「出張キャラバン隊」を実施するとともに、大学試作開発ニーズを捉え、具体化する「産学連携・試作開発プロジェクト」を推進しました。
- 3 ナノ医療イノベーションセンターにおいては、川崎市の進めるライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点の中核を担うとともに、「スマートライフケア社会への変革を先導するものづくりオープンイノベーション拠点」の中核機能を担いました。また、指定管理事業として、「川崎市産業振興会館」及び「かわさき新産業創造センター」の管理運営を行っています。

【課題】

- 1 プロパー職員の増員・強化等による財団の執行体制強化などを通じて、中小企業への支援体制の更なる充実、起業・創業支援の強化、中小企業サポートセンターの運営の強化他、取巻く環境の変化への対応等を図る必要があります。
- 2 AIやIoT等の新しい技術分野やライフサイエンス分野等への対応を更に進める必要があります。「川崎市産業振興会館」及び「かわさき新産業創造センター」の指定管理事業について、引き続き適切な運営に努めていくとともに、ナノ医療イノベーションセンターの持続的、安定的な運営を確保していく必要があります。

取組の方向性

(1)経営改善項目

- 1 当該財団を取り巻く環境の変化に対応するため、新たな収入の確保や継続的な事業の見直し、経費の削減に努め、効率的・安定的な事業執行の確保に努めるとともに、組織体制及び機能の強化を図り、職員の育成・強化を進めることで、より機能的な組織体制の構築を進めます。
- (2)本市における法人との連携・活用
 - 1 引き続きこれまで培ってきた経験やノウハウを生かしながら、中小企業への支援体制の充実、起業家支援の推進など中小企業支援業務、新事業創出等の取組を推進、強化するとともに、殿町地区・新川崎地区の拠点形成の促進やIoT、AI、ロボットなど新しい分野への対応を進めるほか、川崎市産業振興会館及びかわさき新産業創造センターの指定管理事業の効率的な管理・運営を行います。
 - 2 また、ナノ医療イノベーションセンター事業は、医療・薬学分野における研究開発を推進し、さらに施設の効率的な管理・運営を行い、オープンイノベーションでスマートライフケア社会の実現に向けて社会実装を目指し、研究を進めます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市産業振興財団	所管課	経済労働局産業振興部企画課
----------	------------------	-----	---------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4年計画の目標

- 基本政策4「活力と魅力あふれる力強い都市づくり」では、川崎の発展を支える産業の振興や新たな産業の創出と革新的な技術による生活利便性の向上や臨海部の活性化等を政策の方向性としています。
- こうした政策の方向性を受けて、今後4年間の計画としては、第4次産業革命対応や成長分野対応に向けた支援、産学・産産連携も含めた企業連携等の更なる促進、起業・創業支援の強化、ICTの活用による生産性の向上に向けた支援等の強化、川崎市中小企業サポートセンターの運営強化等を推進します。また、こうした取り組みの充実・強化に併せて、専門性の高い新規プロパー職員の採用等を実施することにより、さらなる体制強化を進めます。
- 指定管理施設である川崎市産業振興会館及びびかわさき新産業創造センターは、当該財団の他の事業と連携を更に進めより事業の効果を高めるとともに、引き続き効率的な運営に努めます。
- ナノ医療イノベーションセンターについては、引き続き基礎研究と社会実装を進めるとともに、更なるイノベーションの創出に向けて支援体制の強化に努めます。

本市施策推進に向けた事業計画

取組№	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	新事業創出事業	産学・企業間マッチング成立件数	75	75	75	75	75	75	件
		オーディション受賞者の応募目的の達成度	14	15	15	15	15	15	件
		事業別の行政サービスコスト	35,500	25,620	25,620	25,620	25,620	25,620	千円
②	中小企業育成事業	ワンデイコンサルティング件数	322	230	230	230	230	230	件
		研修受講者満足度	88	88	88	88	88	88	%
		事業別の行政サービスコスト	234,642	266,612	262,612	262,612	262,612	262,612	千円
③	研究開発推進事業	特許出願数	22	13	13	13	13	13	件
		研究論文発表件数	23	34	34	34	34	34	本
		事業別の行政サービスコスト	246,870	152,936	82,418	50,000	8,655	8,655	千円

経営健全化に向けた事業計画

取組№	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	市以外の補助・助成金・受託料等の増加	国や県、民間等からの補助金・受託料収入等	524	519	519	519	519	519	百万円
②	産業振興会館利用料金収入	産業振興会館の会議室利用率	69.7	64	65.3	65.3	65.3	65.3	%

業務・組織に関わる計画

取組№	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	公益財団法人としてのコンプライアンスの確保	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	0	件
②	情報管理の強化	情報漏洩件数	0	0	0	0	0	0	件

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市産業振興財団	所管課	経済労働局産業振興部企画課
----------	------------------	-----	---------------

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		新事業創出事業						
指標		①産学・企業間マッチング成立件数②オーディション受賞者の応募目的の達成度						
現状		<p>・中小企業の顔の見えるネットワークづくりを目指して、当該財団職員が、本市や国・県等の支援機関、金融機関と連携を図り直接企業訪問する「出張キャラバン隊」を実施しているほか、かわさき起業家オーディションの実施、大学の試作開発ニーズを捉え、具体化する「産学連携・試作開発促進プロジェクト」を推進しています。</p> <p>・KBICでは、31年1月(予定)に開設される「AIRBIC」を含め、ベンチャー企業の成長支援、起業家の創業支援等を進めています。今後は、AIやIoT等の第4次産業革命対応や多様な企業間連携への対応がより求められています。</p>						
行動計画		<p>・新たな企業の創出・育成と新事業・新分野進出支援に向けて、引き続き「出張キャラバン隊」及び「かわさき起業家オーディション」を推進するほか、新技術や新産業の創出を目指して、大学研究のシーズを活用した中小企業の新製品、新事業開発や中小企業等と大学、連携機関との交流を推進し、産学連携・産産連携の創出を推進します。</p> <p>・31年1月(予定)に開設される「AIRBIC」の運営を通じ、ベンチャー企業の支援、オープンイノベーションの推進、新分野進出支援等を推進します。</p>						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	産学・企業間マッチング成立件数	75	75	75	75	75	件
		説明 中小企業間や大学とのマッチングを実施し、マッチングが成立した件数						
	2	オーディション受賞者の応募目的の達成度	14	15	15	15	15	件
		説明 受賞者のうち当初応募目的を達成した件数						
	3	事業別の行政サービスコスト	35,500	25,620	25,620	25,620	25,620	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		中小企業育成事業						
指標		①ワンデイコンサルティング件数②研修受講者満足度						
現状		<p>・中小企業支援のワンストップサービスの窓口である「川崎市中小企業サポートセンター」の運営やワンデイコンサルティングや専門家派遣等を通じて、市内中小企業の経営改善、課題解決、事業継承等を支援しています。</p> <p>・商談会の開催による販路開拓支援、中小・ベンチャー企業の成長を担う人材の育成等に向けて各種セミナーを開催しています。中小企業の抱える課題は変化しており、引き続き時代に即応した体制の確保が求められています。</p>						
行動計画		<p>・中小企業の技術開発、経営革新支援と人材育成支援や新たな技術等への対応に向けて、ワンデイコンサルティング、窓口相談や専門家派遣に加え、財団の有するノウハウ、ネットワークを更に活用し、総合的な中小企業の経営改善、経営支援の実施を引き続き推進します。</p> <p>・企業の人材の育成に向けた各セミナーについては、ニーズや質の確保に努め実施するとともに、指定管理者として川崎市産業振興会館の安定的かつ効率的な運営に努めます。</p>						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	ワンデイコンサルティング件数	322	230	230	230	230	件
		説明 延べ派遣件数						
	2	研修受講者満足度	88	88	88	88	88	%
		説明 各種セミナー等の参加者の満足度						
	3	事業別の行政サービスコスト	234,642	266,612	262,612	262,612	262,612	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名		研究開発推進事業							
指標		①特許出願数②研究論文発表数							
現状		<p>・文部科学省の補助金採択を受けて、国際戦略総合特区(キングスカイフロント)に整備されたナノ医療イノベーションセンターの管理運営を行っているほか、「スマートライフケア社会化への変革を先導するものづくりオープンイノベーション拠点(COINS)」の中核機関として、ナノ医療の研究開発と社会実装を推進しています。</p> <p>・今後は、研究活動も本格化し、新たな研究プロジェクトも開始されており、こうした流れを継続させるために、支援体制の更なる強化が求められています。</p>							
行動計画		<p>・ナノ医療イノベーションセンターの施設管理運営を、本市の適切な負担と支援の下に円滑に推進し、ライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点形成の一端を担うとともに、COINSの中核機関として、研究活動・社会実装を推進します。</p> <p>・新たな研究プロジェクト等の更なる推進に向けて、研究支援体制を強化し、イノベーションの創出を目指します。</p>							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
指標	1	特許出願数		22	13	13	13	13	件
		説明	研究活動に伴い出願した特許数						
	2	研究論文発表件数		23	34	34	34	34	本
		説明	研究者による研究論文の発表件数						
	3	事業別の行政サービスコスト		246,870	152,936	82,418	50,000	8,655	千円
		説明	直接事業費ー直接自己収入						

3. 経営健全化に向けた計画①

項目名		市以外の補助・助成金・受託料等の増加							
指標		国や県、民間等からの補助金・受託料収入等							
現状		<p>・ナノ医療イノベーションセンターにおいては、国際戦略総合特区の中核的な機関として、科学技術の振興、ライフサイエンス分野における市内企業の更なる高度化や支援体制の強化に向けて、引き続き市以外の国や県などの補助・委託メニューの積極的な活用や、企業等との新たな共同研究プロジェクトの獲得等を進め、研究開発を推進していくことが求められています。</p>							
行動計画		<p>・国や県などの補助・委託事業メニューの動向を常に注視するとともに、当該財団の有するネットワークを有効に活用し、情報収集に努めるなどして、国・県等の補助・委託メニューを積極的に発掘応募するとともに、企業等との新たな共同研究の組成など、市以外の収入の獲得を目指します。</p>							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
指標	1	国や県、民間等からの補助金・受託料収入等		524	519	519	519	519	百万円
		説明	市以外の収入						

経営健全化に向けた計画②									
項目名		産業振興会館利用料金収入							
指標		産業振興会館の会議室利用率							
現状		・駅周辺・隣接するビルにも新たな貸会議室やホールが出来て競合している状況です。建物の老朽化が目立ち始めている中で、料金の見直しや軽微なリニューアルを実施して利用率向上に努めています。平成29年度は一部設備のリニューアル(固定式から稼動式の机に変更)、貸出備品の追加等による利便性の向上、パンフレットの更新によるPR効果により利用率の向上に繋げることができました。							
行動計画		・利用者アンケートやヒアリング等利用者の声を聞きながらスピーディーな対応を心掛けて利用者にとって付加価値の高いサービスを提供していきます。							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
指標	1	産業振興会館の会議室利用率		69.7	64	65.3	65.3	65.3	%
	説明	会議室の利用率							

4. 業務・組織に関する計画①									
項目名		公益財団法人としてのコンプライアンスの確保							
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数							
現状		・コンプライアンスの確保に向けては、機会あるごとに規律の徹底等の周知をしているほか、職員への研修等をすでに実施しており、コンプライアンスに反する事案は発生していません。							
行動計画		・組織体制の構築やコンプライアンスに関わる規定の更なる周知や職員への研修等を実施し、公益財団法人として求められるコンプライアンスの確保に努めていきます。 ・万が一、コンプライアンスに反する事案が発生した際に、適切な対応が取れるよう対策を進めます。							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数		0	0	0	0	0	件
	説明	処分該当件数							

業務・組織に関する計画②									
項目名		情報管理の強化							
指標		情報漏洩件数							
現状		・情報管理については、既に職員に徹底しており、情報漏洩は発生していません。							
行動計画		・更なる情報管理の徹底に向けて要綱の整備を進めつつ、職員研修や監査を実施して情報管理に対する意識の醸成や課題の洗い出しと改善に努め体制強化を図っていきます。							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
指標	1	情報漏洩件数		0	0	0	0	0	件
	説明	企業情報の漏洩件数							

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①新事業創出事業				
1	産学・企業間マッチング件数 算出方法 当財団により産学・企業間のマッチングが成立した件数	75件	75件	新事業創出にむけては、産学・企業マッチングは引き続き取り組むことが求められることから、過去の実績以上の成立を目指し、継続して取り組んでいきます。【過去4年間平均 57.5件】であるが、現状値が75件であることから、75件を目標値としたものです。
2	オーディション受賞者の応募目的の達成度 算出方法 受賞者にヒアリングを実施し、当初の応募目的を達成した件数	14件	15件	新事業創出にむけては、オーディションの目的達成度は一定以上が求められることから、過去の平均実績以上の成立を目指し、継続して取り組んでいきます。【過去4年間平均 14.5件】であることから、15件を目標値としたものです。
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費－直接自己収入	35,500千円	25,620千円	効果的・効率的な事業執行に努め、費用対効果の向上引き続き図ってまいります。
②中小企業育成事業				
1	ワンデイコンサルティング件数 算出方法 1年間のワンデイコンサルティング(専門家派遣)実施延べ件数	322件	230件	専門家の派遣相談であるワンデイコンサルティングは、中小企業育成のきっかけとなる事業であることから、過去の実績・予算を考慮しつつ、現状で可能な限り実施していきます。当初予算の限度回数である230件を目標値としたものです。【参考：H26-H29平均285件】
2	研修受講者満足度 算出方法 各種セミナー等の受講者に対するアンケートにより満足度を図る	88%	88%	セミナーをより効果的に実施するためには、受講者のニーズや社会・経済状況にあわせて実施する必要があることから、引き続き一定以上の満足度を満たすよう取り組んでいきます。【過去4年間平均86.75%】であるが、現状値が88%であることから、目標値を88%としたものです。
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費－直接自己収入	234,642千円	262,612千円	効果的・効率的な事業執行に努め、費用対効果の向上引き続き図ってまいります。

③研究開発推進事業					
1	特許出願数	研究開発の成果の一つの形である特許の出願数にて、研究開発の状況・効果を測れることから、指標として設定したものです。	22件	13件	研究開発の更なる推進に向けては、過去の平均実績以上の出願を目指し、継続して取り組んでいきます。 【過去4年間平均は7件】であり、平成29年度は突出していることから、過去平均以上の13件を目標値としたものです。
	算出方法 研究開発に伴い出願した特許件数				
2	研究論文発表件数	研究開発の成果の一つの形である研究論文の発表数にて、研究開発の状況・効果を測れることから、指標としています。	23件	34件	研究開発の更なる推進に向けては、過去の平均実績以上の研究論文の発表数を目指し、継続して取り組んでいきます。 【把握可能な過去2年間平均34件】であることから、これを目標値したものです。
	算出方法 研究者が研究論文を発表した件数				
3	事業別の行政サービスコスト	当該事業における市の財政負担を把握する上で必要な指標であり、当該支出状況をみることで、事業の費用対効果を検証することができます。	246,870千円	8,655千円	効果的・効率的な事業執行に努め、費用対効果の向上引き続き図ってまいります。
	算出方法 直接事業費－直接自己収入				
経営健全化に向けた事業計画					
指標		指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
			平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①市以外の補助・助成金・受託料等の増加					
1	国や県、民間等からの補助金・受託料収入等	当財団の財務の改善に向けては、本市以外の収入金額を指標とすることで、財務の改善を図ることができることから、指標としています。	524百万円	519百万円	経営の健全化にむけて、事業の見直しに伴い一部減少となりますが、引き続き過去の実績と同程度を目指し、継続して取り組んでいきます。 【過去4年間平均は400.5百万円】であるが、現状値524百万円から事業廃止分5百万円を除いた519百万円を目標値としたものです。
	算出方法 国や県、民間等からの補助金・受託料収入金額				
②産業振興会館利用料金収入					
1	産業振興会館利用率	当財団の財務の改善に向けては、利用率を高め収入の増を図ることは、財務の改善につながることから、指標としています。	69.7%	65.3%	経営の健全化にむけて、引き続き計画以上の稼働率を目指し、継続して取り組んでいきます。 【過去4年間平均は、64.3%】であることから、平成33年度の目標値をこれを超える65.3%を目標値としたものです。
	算出方法 産業振興会館の会議室等の利用率				
業務・組織に関わる計画					
指標		指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
			平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①公益財団法人としてのコンプライアンスの確保					
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	処分該当件数0を目指すことは、コンプライアンスの確保につながることから、指標としています。	0件	0件	コンプライアンスの確保を図ることは、当然に求められることから、引き続き処分該当件数0を目指してまいります。
	算出方法 処分該当件数				
①情報管理の強化					
1	情報漏洩件数	情報の漏洩件数0を目指すことは、組織強化・情報管理の強化につながることから、指標としています。	0件	0件	情報管理の徹底・強化を図ることは、当然に求められることから、引き続き情報漏洩件数0を目指してまいります。
	算出方法 情報漏洩件数				

資金計画表

[平成30年度～平成33年度]

法人名: 公益財団法人 川崎市産業振興財団

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	500,318	453,356	493,507	485,798	458,343
		補助金収入	265,609	263,467	263,467	263,467	263,467
		委託費収入	561,592	531,869	531,869	531,869	531,869
		雑収入	3,264	203	203	203	203
		経常収入合計	1,330,783	1,248,895	1,289,046	1,281,337	1,253,882
	支出	事業費	1,204,503	1,211,184	1,216,184	1,216,184	1,222,184
		管理費	51,703	61,671	61,671	61,671	61,671
	経常支出合計	1,256,206	1,272,855	1,277,855	1,277,855	1,283,855	
	経常収支	74,577	△ 23,960	11,191	3,482	△ 29,973	
投資収支	固定資産取得支出	△ 186,107	△ 63,774	△ 42,724	△ 42,724	△ 42,724	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	
	特定資産取崩収入	5,005	59,479	23,796	33,923	68,726	
	預り保証金受取収入	14,760					
	投資等収支	△ 166,342	△ 4,295	△ 18,928	△ 8,801	26,002	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	0	0	
	借入金償還による支出	0	0	0	0	0	
	利息/配当金の支払	0	0	0	0	0	
	その他財務活動支出	△ 15,067					
	財務収支	△ 15,067	0	0	0	0	
現金預金増加高			△ 106,832	△ 28,255	△ 7,737	△ 5,319	△ 3,971
期首現金預金			168,261	61,429	33,174	25,437	20,118
期末現金預金			61,429	33,174	25,437	20,118	16,147